

外郭団体基本情報

【基本情報公表団体用】

1. 団体概要

2024 年3月31日現在

団体名	公益社団法人町田市シルバー人材センター		
法人番号	5012305001510		
所在地	町田市森野1-1-15		
電話	042-723-2147	FAX	042-724-0407
ホームページアドレス	https://webc.sjc.ne.jp/machida/index		
代表者	丹田 公和		
設立年月日	1980年3月6日		
設立根拠法令	高齢者等の雇用の安定等に関する法律		
団体設立後から現在に至るまでの主な経緯	シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、区市町村ごとに設置されている公益社団法人である。町田市シルバー人材センターは昭和55年3月6日に発足し、同年12月に法人認可された。 高齢者の就業施策について、行政が直接行う事業ではなく、地域の高齢者の自主的な組織として運営していくという理念のもと設立されている。		
設立目的	社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与すること。		
事業内容	①高齢者のための就業機会の確保及び提供 ②高齢者の就業に必要な知識や技能の付与を目的とした講習の実施 ③高齢者の生きがいの充実や社会参加の推進を図るために必要な事業の実施 ④高齢者の就業に関する相談、調査研究及び事業の企画運営		
市所管課	いきいき生活部いきいき総務課		

2. 資本金等

2024 年3月31日現在

資本金・基本金	0 千円	うち市の出資・出えん金	0 千円	市出資・出えん割合	0 %
市出資出えん金額の根拠	-				
市以外主な出資者	※出資者には、社会福祉法人の寄付者も含まれます。				
名称	出資額		出資率		
なし	0 千円		0 %		
市の損失補償	0 千円	市の借入保証	0 千円		

3. 財務状況

(1) 財務指標

単位: %

項目	2021年度	2022年度	2023年度	備考 ※増減の理由等
① 自己資本比率〔純資産/資産×100〕	60.9	60.9	56.6	
② 借入金依存度〔借入金負債/資産×100〕	0.0	0.0	0.0	
③ 流動比率〔流動資産/流動負債×100〕	180.9	146.8	132.5	
④ 経常収支比率〔経常収益/経常費用×100〕	100.9	100.1	98.6	
⑤ 当市補助金比率〔市補助金/経常収益×100〕	4.3	4.2	4.2	
⑥ 当市貸付金比率〔市貸付金/資産×100〕	0.0	0.0	0.0	
⑦ 当市委託料比率〔市委託料/経常収益×100〕	31.8	31.4	30.6	
⑧ 当市指定管理料比率〔市指定管理料/経常収益×100〕	1.3	1.3	1.4	

※②の借入金には、当市貸付金も含まれます。

(2) 当該団体への財政的援助

単位: 千円

項目	2021年度	2022年度	2023年度	備考 ※増減の理由等
① 補助金(助成金)・交付金・負担金	40,058	39,990	39,990	
② 利子補給金	0	0	0	
③ 貸付金残高	0	0	0	
④ 損失補償・借入保証契約に係る債務残高	0	0	0	
⑤(参考) 委託料	293,696	296,780	293,630	
⑥(参考) 指定管理料	12,401	12,692	13,632	

①補助金(助成金)・交付金・負担金のうち、特定の補助対象者となっているもののみ記載

1	補助金名	公益社団法人町田市シルバー人材センター補助金		
	補助金の内容	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条の規定に基づき、公益社団法人町田市シルバー人材センターの運営及び事業に要する経費の一部を補助する。		
	補助金の積算根拠	補助対象事業(公益目的事業・重点推進事業)に要する人件費及び事業費		
	補助額(千円)	2021年度 39,990	2022年度 39,990	2023年度 39,990

⑤(参考)委託料のうち、特命随意契約によるもののみ記載

1	委託名(随意契約)	市立公園等除草・落葉清掃業務委託		
	委託の内容	公園緑地内の除草・草刈、落葉清掃業務の委託		
	随意契約の理由	地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定による		
	委託料(千円)	2021年度 28,847	2022年度 27,573	2023年度 29,856

2	委託名(随意契約)	高齢者指定収集袋配付業務委託		
	委託の内容	指定収集袋の梱包、配付および交換業務の委託		
	随意契約の理由	地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定による		
	委託料(千円)	2021年度 10,690	2022年度 11,310	2023年度 12,699

3	委託名(随意契約)	「資源とごみの収集カレンダー」全戸配布業務委託		
	委託の内容	資源とごみの収集カレンダー 25種類を地域ごとに分けて配布する。		
	随意契約の理由	地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定による		
	委託料(千円)	2021年度 5,597	2022年度 6,080	2023年度 6,330

⑥(参考)指定管理料のうち、非公募によるもののみ記載

1	指定管理施設名	わくわくプラザ町田 (指定期間:2019年4月1日～2024年3月31日)		
	指定管理の内容	(1)会議室等に係わる利用の承認等に関すること (2)施設及び設備並びに事業の用に供する敷地内の管理に関すること		
	非公募の理由	わくわくプラザ町田の設置目的を効果的に達成し、施設管理を効率的に行うためには、シルバー人材センターが管理運営することが最も適しているため。		
	指定管理料(千円)	2021年度 12,401	2022年度 12,692	2023年度 13,632

(3)当該団体へのその他援助の内容(公有財産の使用許可等)団体の活動に必要な資産の状況

区分	所有形態	内容(建物名称、取得経緯、公有財産使用許可理由など)
土地	公有財産	なし
建物	公有財産	わくわくプラザ町田(1階・2階):使用許可
設備	自己所有	なし

4. 役職員数

単位:人

項目	2021年度	2022年度	2023年度	備考 ※増減の理由等
役員	12	14	15	
理事・取締役	10	12	13	
うち市あて職	1	1	0	
監事・監査役	2	2	2	
うち市あて職	0	0	1	
正職員	7	7	8	
うち市からの派遣	0	0	0	

5. 主要事業の内容と評価

事業名	事業内容		
① 就業機会の確保及び提供	行政への働きかけを行うとともに、市内の各種団体の施設へDMを送付や、保育・学童関連の施設長会議等において事業案内を積極的に行い、会員の就業推進を目的とし事業の新規受注・拡大を図る。		
事業費 (単位:千円)	2021年度	2022年度	2023年度
	52,995	64,998	76,578
指標:派遣事業延べ人員 (単位:人)	目標	13,000	15,500
	実績	11,383	13,006

事業名	事業内容		
② 技能講習の実施	独自の研修の他、外部講師を招くなどし会員のスキル向上を目的とする。また、上部団体である「東京しごと財団」や「第7ブロック」の主催する研修にも積極的に参加する。		
事業費 (単位:千円)	2021年度	2022年度	2023年度
	—	—	0
指標:毛筆筆耕・植木・接 遇等(単位:回)	目標	100	100
	実績	135	124

事業名	事業内容		
③ ボランティア活動	地域班を主体とし、社会奉仕活動を推進しボランティア全員参加を目標とする。		
事業費 (単位:千円)	2021年度	2022年度	2023年度
	—	—	0
指標:防犯活動支援・地 域清掃等(単位:人)	目標	2,675	2,743
	実績	1,272	1,570

団体の自己評価

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、通常の事業活動の制限が緩和される中、前年度に比べ契約額、会員数ともに微増の結果となった。契約額の増加については、行政から清掃業務等の新規受注、リサイクル事業のネット活用、派遣事業について民間事業所や保育関連業務への就業拡大を行ったことが主な要因であった。会員数の増加については、チラシ配布やポスター掲示、地域情報誌の掲載等で拡大策を行った他、SDGs活動の一環として、健康体操・盆踊りチーム等の健康や仲間づくりによる大会抑制事業を行ったことが要因として挙げられる。ボランティア活動では、市内一斉美化活動に過去最高の参加者であったこと、町田ホームタウンチームの試合運営の参加者が増加したことで、昨年を大きく上回る実績となった。

市所管課の評価

①就業機会の確保及び提供について、各所への事業案内を積極的に行うことで、受注先の開拓及び拡大を進めることができています。②技能講習については、目標値を達成することができたが実績値が前年度比で減少となったため、事業拡大に応じて必要となるスキルの習得を進めてほしい。③ボランティア活動については、参加人数が前年度比で大きく伸びており、ホームタウンチームの試合運営支援など、今後需要が見込まれる活動については積極的に推進してほしい。

同様の役割を担う類似団体や企業の存在の有無

民間企業でも60歳以上の高齢者層の雇用は進んでいるが、シルバー人材センターのように都道府県知事から指定を受け、高齢者の健康保持、生きがいづくり、地域社会への貢献を目指している団体は他に無いと考えている。

6. 当該団体への監査、外郭団体監理委員会による評価の結果※直近3ヵ年。ただし、未対応のものは除く。

(1)指導監督の実施状況

町田市シルバー人材センターに対して外郭団体としての指導監督はしていないが、町田市シルバー人材センターがいきいき総務課所管施設である「わくわくプラザ」の指定管理者となっているため、指定管理者への指導監督として年に1度、事業評価モニタリング、会計・経理モニタリング、労働条件モニタリングを実施している。

(2)その他外部監査の評価結果

【包括外部監査(2020年度)】

(1)固定資産台帳について

手書きの固定資産台帳の欄に、種類:祭壇、現在金額1円と記載されていた。当該固定資産は、既に市に返還しており、法人の所有ではないため、固定資産台帳に返還の事実を反映するべきであるとの指摘があった。

⇒これを受け固定資産台帳の記載を修正した。

(2)備品台帳について

財務規程に基づき、消耗什器備品管理簿及び消耗品受払簿を備え、物品の保管状況及び異動について記録を行うべきである。または、実態に即して規程の改定を検討すべきであるとの指摘があった。

⇒これを受け財務規程に基づき、消耗什器備品管理簿及び消耗品受払簿を整備した。

(3)時間外手当の算定について

超過勤務手当の算定の基礎に住宅手当を含める根拠はないため、超過勤務手当の算定の基礎に住宅手当が含まれることのないよう、留意すべきであるとの指摘があった。

⇒財務処理を修正済み。

7. 市所管課所見(現状と課題、今後の取り組み、外郭団体の必要性)

高齢者雇用安定法の改正に伴い、定年の引上げや再雇用制度の整備が進み、会員数の獲得が難しくなることが想定される。

一方で、多様な雇用や就業機会の確保が求められており、地域での生きがいや就業を通じた社会参加を求める高齢者にとって、シルバー人材センターの果たす役割は大きい。今後は、人手不足分野等での就業機会の開拓や地域の実情を踏まえた独自事業の強化など、多様な働き方を支援するための運営体制強化が必要と考える。

【注記】

1. 金額について、千円未満の数値については、四捨五入しています。

2. 複数の欄の合計値を他の項目の数値と一致させる必要がある項目については、四捨五入を行ってずれが生じてしまう場合、適宜端数調整を行っています。